

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年7月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部・経済学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年6月27日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	イースト・アングリア大学(日本語名) University of East Anglia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月~2024年6月
留学先大学で在籍した学年	1~2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬~7月下旬 2学期: 9月中旬~2月上旬	1学期: 9月下旬~12月上旬 2学期: 1月下旬~6月中旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	14257人
創立年	1963年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料	0	0 円	授業料免除型の留学であるため。
宿舍費	5200	990000 円	University Village に滞在
食費		550000 円	
図書費		0 円	
学用品費		60000 円	
携帯・インターネット費		20000 円	
現地交通費		40000 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
被服費		30000 円	
医療費		0 円	
保険費		250000 円	形態:
渡航旅費		65000 円	マイルを使用した為、格安
ビザ申請費		100000 円	
雑費		100000 円	
その他		700000 円	1 か月間の旅行
その他		0 円	
合計		2905000 円	

## 渡航関連

渡航経路
<b>往路 出発地:</b> 東京(羽田) <b>目的地:</b> ロンドン(ヒースロー) <b>経由地:</b> <b>復路 出発地:</b> ロンドン(ヒースロー) <b>目的地:</b> 東京(羽田) <b>経由地:</b>
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: JAL   料金: 0。(マイルで購入した為)  復路 航空会社: JAL   料金: 64000 円(一部マイルで負担)                      ∴ 合計: 64000 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:     ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL マイレージクラブ) <input type="checkbox"/> その他(     )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Village) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数     )
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
昨年度 UEA に留学した方に話を聞いた。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
騒がしくなく非常に過ごしやすかった。一方で、比較的部屋が狭く広い部屋を希望する方には適していない気がする。また、メインキャンパスまで徒歩約 10 分で他の寮より離れている点は留意する必要がある。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

Norwich は比較的治安が良く危険地域ではなかった為、収集する必要がなかった。他の都市については SNS やサイトを参考にした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

他の寮と比較してインターネット接続は良好だった。しかし、City Center では圏外になることも珍しくなくバス停の周辺は常時接続が悪かった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から持参したクレジットカードを使用していた。現地で銀行口座の開設などはしていない。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

アジア人向けのスーパーマーケットがある為、基本的にはなんでも揃う。ガムテープだけは入手するのに苦労した為、日本から持っていくと良いと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:学部との関連がない為。)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(   ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:各学期、自分が選択した学部の科目を最低2つ履修する必要がある。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Current Economic Affaris	現在の経済情勢
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	9 月下旬～12 月上旬
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Duncan Watson
授業内容	戦争や宗教、薬物中毒について経済学の観点から学ぶ。
試験・課題等	期末レポートがある。
感想を自由記入	経済の観点から世の中の様々な事象について学べる為、非常に興味深かった。しかし、経済学に関連する専門用語などの理解に苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Current Financial Affairs	現在の財務情勢
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	9月下旬～12月上旬
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Duncan Watson
授業内容	フィンテックや金融危機など金融にまつわることを全般的に経済の観点から学ぶ。
試験・課題等	期末レポートがある。
感想を自由記入	金融と経済の両方について学ぶことができ、経済学の現実的な使い方がわかるようになった。しかし、金融の事前知識が不足しており授業についていくのが大変だった。世界を俯瞰し、金融と経済の関係について学びたい方には非常におすすめ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Education	グローバル教育
科目設置学部・研究科	Education
履修期間	9月下旬～12月上旬
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Harry Dyer
授業内容	教育における世界規模での課題について学び議論する。
試験・課題等	期末レポートがある。
感想を自由記入	各国の教育について学べると思い履修したが、実際には教育における世界中での問題について検討する授業であり想定とは異なっていた。しかし、日本の教職課程だけでは知り得なかった世界的な教育の課題や発展途上国における男女の教育格差について学ぶことができ非常に興味深かった。教育に興味のある方には是非履修してほしい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Economics of the Environment	環境経済学
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	1月下旬から5月上旬
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1.5回
担当教授	Corrado Di Maria
授業内容	環境問題について経済学の観点から学ぶ。
試験・課題等	期末試験とレポート
感想を自由記入	数式やグラフを多用する為、数学を苦手としている私にとっては非常に難しい授業であった。しかし、身近な環境について経済的なアプローチをすることができ興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Regional Economic Integration	地域経済統合
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	1月下旬～5月上旬
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1.5回
担当教授	Liliana Harding
授業内容	EUやASEANをはじめとした経済統合について基本的な概要を学び、存在意義について考える。
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	経済統合の中で各国がどのようなことを望んでいるのか国単位で学ぶことができた為、以前よりも理解が深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Teaching English as a Second Language: Issues and Challenges		第二言語としての英語の指導
科目設置学部・研究科	Education	
履修期間	1月下旬～5月上旬	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に110分が2回	
担当教授	Nalini Boodhoo	
授業内容	英語を第二外国語として教えるための方法を学ぶ。	
試験・課題等	期末レポート	
感想を自由記入	日本のように英語を外国語として学ぶ生徒に対してどのように教えるべきか英語を母国語として使用するイギリス人と共に学べたことが貴重な経験となった。我々日本人にとっては当たり前のことが彼らにとっては当たり前ではなく、お互い刺激を与えあうことができたのはよかった。教員志望の方は是非履修してほしい。	



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア、CFN、Matcher、ビズリーチキャンパス

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

アクセンチュア、NTTドコモ、公文教育研究会、DXC テクノロジージャパン、パーソルキャリア、日本 TCS、ヤマト運輸

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

実際に留学中に就職活動をした為、両立することは可能だと思います。しかし、時差の都合上、基本的に面接を夜中に行う必要があり睡眠時間の確保に苦戦した。卒業を急がないのであれば帰国後に就活することが望ましいと思う。現地では、様々な経験に挑戦することで就活で話すことも増える為、尚更である。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	IELTS に向けた勉強
	8月～9月	IELTS に向けた勉強、IELTS 受験
	10月～12月	面接
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請、予防接種(A型肝炎など)
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	12月長期休暇
留学/帰国年	1月～3月	1月期末試験、期末レポート
	4月～7月	5月期末試験、6月帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

当初、英語科教員になることを目指しており語学力の強化と様々な文化に触れることを目的に留学を志望しました。イースト・アングリア大学を選択した理由はイギリスの教育に興味があったこととサッカーに興味がある為、ヨーロッパのサッカーを実際に見てみたいといった安易な理由でした。

私の留学を象徴するものは間違いなくコーフボールです。聞いたことも見たこともないスポーツに挑戦したいと思い入部を決めたコーフボールですが、週 4 日の練習と週末の練習試合があり結果的に授業以上に時間を割いていました。メンバーはイギリス人が 9 割を占めており、非常に仲の良い友人を作ることができました。現地の人々と会話することが語学力向上の最短ルートであると考え渡航しましたが、やはりその通りでした。練習以外でも遊びに誘ってくれたり英語に触れる環境に身を置くことができた為、留学以前よりはスピーキング能力が強化されたと思います。賛否両論あると思いますが、部活動に入ることも留学を充実させる1つの手段だと強くお勧めします。

大学のある Norwich に関しては、東京とは大きく異なり緑に囲まれた自然豊かな場所にありゆっくりと時間が流れていました。リスやウサギを見ることも珍しくなく、私にとっては非常に新鮮で魅力的な環境でした。一方で、キャンパスの周りにはお店があまりなく、バスで 20 分ほどかけて街に出かける必要があったのは少し不便でした。それでも、屋からワインを飲むイギリス人や日本にはない国民性を見ることができる為、毎日新しい発見がありました。

キャンパスは非常に広く、私の住んでいた Village からは歩いて 15 分ほどかかりました。しかし、留学生の受け入れに非常に寛容的な大学であり、イギリス人だけでなく様々な国から多くの留学生が学びに来ていました。キャンパスにいて世界中の友人ができる環境は面白く様々な文化に触れることができたのは他の大学にはない特徴だと思います。一方で、イギリス人はイギリス人同士で仲良くしており留学生は留学生同士で仲良くしている様子が見受けられました。授業やイベントでイギリス人の友人を作るのは困難であるため、部活動に入るなどイギリス人が大半を占めている環境に身を置くことが重要です。授業に関しては、基本的に講義とグループワークの2つから構成されており自分自身の意見を積極的に求められます。日本の大学にはあまりない形式であり非常に苦戦しました。積極性が身に付いたように思います。

最後に、留学生活を通して最も重要だと感じたことはタイムマネジメントです。様々なことに挑戦すればするほど時間に追われ、体調を崩しそうになりました。折角の留学生活である為、いろんなことに興味を持ち挑戦してほしいですが、しっかりとタイムマネジメントや体調管理をすることをお勧めします。

勉強だけでなく日常生活すべてが日本とは異なる為、様々な発見がありました。少しでも留学に興味がある方は是非挑戦してほしいと思います。